

磯辺小学校のESD活動

<活動の概要>

本校では、教育目標「力いっぱいー進んで学ぶ子、仲よく助け合う子、たくましく元気な子ー」の下、ESDのテーマ「地域とともに磯辺を見つめ、学び、考えよう」を掲げ、実践を通して、コミュニケーション能力、課題解決・追究能力、情報発信能力の育成に努めている。具体的には、総合的な学習や生活科を中心に、地域の特色を柱に、①地域と関わる活動、②地域の福祉活動、③地域の歴史と文化にふれる活動に取り組んできた。

・活動の実際

① 地域と関わる活動

「行ってきます！」2年生の大きなあいさつが学校に響いた。子どもたちが心待ちにしていた校区探検の日。2年生は、生活科の授業で校区内の素敵な人「すまいるさん」を探す授業を行った。中華料理店「道」で、料理人の仕事を見学した。鶏肉をさばく様子を目の当たりにし、職人のすごさを実感した。また、畳店では、お店の人にインタビューしたり、畳の作り方を体験したりした。さらにカフェ・雑貨の店では、お客さんを温かく接する心配りに気づいた。子どもたちは、多くの地域の方から、素敵などころを見せていただき、たくさんの「すまいるさん」がいることに気づいた。

学習のまとめとして、見つけてきた「すまいるさん」について、学級ごとにまとめ、「すまいるさん」を紹介する取り組みをした。



2年 校区探検

② 地域の福祉活動

5年生の総合的な学習「福祉 ハートフル磯辺」では、豊橋市社会福祉協議会の方々の指導の下、手話教室や車椅子体験、装具を着けた高齢者体験等をした。車いすで校内にある段差や狭い通路などを通る体験をしたことで、車いすを使用している人の気持ちや、押す側の人をの気持ちを、考えることができた。体験終了後に、気づいたことについてグループで話し合う際、講師の方がリードしてくださり、有意義な振り返りができた。活動を通して、子どもたちは、福祉への理解を深めることができた。

③ 地域の歴史と文化にふれる活動

1年生は、お年寄りから学ぶ昔遊びの会を行った。子どもたちは、グループに分かれて昔の遊び（けん玉、あや取り、コマ回し等）を教えていただいた。この体験の中で、話をしっかり聞いたり、遊びの楽しさを味わったり、わからないことを質問したりした。

4年生は、総合的な学習で、農家の方の指導の下、稲作体験をした。6月には、学校の田んぼでしろかきや田植えをし、その後、害虫駆除などの田の世話を調べる学習を行った。秋には鎌での稲刈りも体験した。農家の方に千歯こきや脱穀機の使い方を教えていただき、昔の脱穀の体験や唐箕を使って粃を選別する体験も行った。

本年度、創立150周年を迎え、創立記念式典を行うに当たり、その準備として、6年生の総合的な学習では「150年続く秘密を探る」に取り組んだ。学校の歴史を沿革史で調べたり、地域の古老や卒業生の方々の話を聞いたり、発祥の地とされる寺を見学したりした。調べてわかったことをまとめ、それをもとに劇のシナリオをつくり、学習発表会で発表した。